

木谷小学校 コミュニティスクールだより 令和5年6月13日発行 第13号

木谷の風



コミュニティ・スクール推進員 福田 みき

地域の方から学んだこと

【町探検 2年生 ローソンさん 6月9日(金)】

バングラデシュから来られている方が店長をされていました。一生懸命に仕事の内容や喜びをお話してくださいました。仕事の内容としては、24時間お店を開けていること、品数は少ないけど様々な種類のものを用意していること、見えやすいように商品を並べることなどを説明されて、喜びは、お客さんの「ありがとう。」の言葉だと言われました。そして、「日本は住みよい街で、頑張れることができます。」とも言われました。他国の方が日本が良いところだと話してくださるのは心がほんわかしました。



【地域探検 3年生 重松神社 6月12日(月)】

大成宮司さんが、3年生にわかりやすく重松神社について説明してくださいました。建てられたのは、「安芸津町史」によると1336年から1392年の間に建てられたのではないかと書かれているそうです。ご神体を宮司さんだけが取り扱うことができることや「お祭り」とはご神体にお供えをして祝詞を詠むことで3年生の考えている「お祭り」とは開きがあることなどが理解できたようです。



見学前に、自分の質問事項をまとめて、それを積極的にお尋ねすることができました。宮司さんが、神様がこれをするするとプリントを何枚も用意してくださり、初めて知ることに関心が高まった3年生でした。

【地域探検 3年生 妙専寺さん 慶寿院さん 6月13日(火)】

700年くらい前から、この木谷の地域に建設された2か所に行きました。妙専寺さんでは、仏様の前で気持ちや態度を清めみんなが仲良く集う場所であることや、親鸞聖人のことを話してくださいました。慶寿院さんでは、座禅を組むことのできる座布団を全員に用意してくださり、座禅の仕方の手本を見せてくださりながら説明して頂き全員で座禅を行いました。



どちらの場所でも、「自分がどう生きていくか？」静かに考えることの大切さや、清らかな気持ちで過ごすことの大切さや、周りの人やものに感謝できる心を養う大切さを切々と語ってくださいました。これからの時代を生き抜いていく子供たちにはとても貴重なお話でした。どこに探検させていただいても丁寧に対応してくださり感謝です。ありがとうございました。